

参加費

自治体問題研究所会員 13,000円 一般 15,000円
 1日参加=21日のみ6,000円 22日のみ7,000円
 23日のみ4,000円
 1日目夜の「地酒交流会」は4,000円です(定員100名)
 *あなたの県の地酒持込み大歓迎!
 2日目の現地分科会は、上記参加費のほかに特別負担金として3,000円(昼食代含む)が必要です。
 定員制、先着順です。

入会割引

2日間以上ご参加される方で自治体問題研究所への入会を希望される場合は、参加費を4,000円割引きます。

●報告者割引

2日間以上ご参加される方で分科会での報告を希望される方は、事前登録・レポート提出を前提に、参加費を4,000円割引きます。

*1日のみのご参加には割引はございません。

*地元実行委員会をつくってご協力くださっている静岡県では市民・町村議員(市議・県議を除く)を対象に、別途割引がございます。詳しくは静岡県地方自治研究所(電話054-282-4060 / FAX054-282-4057)へお問い合わせください。

お願い

自治体学校は学習・研究集会です。ビラ配布や署名、カンパ・物品販売はご遠慮ください。

●お申込み方法

参加お申し込みは、別紙申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、名鉄観光(FAX 053-455-1559)にお申込みください。また、ホームページ(<https://www.jichiken.jp/>)からもお申込みいただけます。折り返し参加費・宿泊費等の送金方法を、名鉄観光よりご案内させていただきます。

第54回自治体学校実行委員会

〒162-8512 東京都新宿区矢来町123

TEL:03-3235-5941 FAX:03-3235-5933

共催団体 自治体問題研究所／北海道地域・自治体問題研究所／オホーツク地域自治研究所／青森県地域自治体問題研究所／岩手地域総合研究所／福島自治体問題研究所／茨城県自治体問題研究所／とちぎ地域・自治研究所／くまみ住民と自治研究所／埼玉自治体問題研究所／千葉県自治体問題研究所／東京自治問題研究所／多摩住民自治研究所／神奈川県自治体問題研究所／にいがた自治体研究所／富山県自治体問題研究所／いしかわ自治体問題研究所／山梨地方自治研究所／長野県住民と自治研究所／静岡県地方自治研究所／東海自治体問題研究所／滋賀自治体問題研究所／京都自治体問題研究所／大阪自治体問題研究所／兵庫県自治体問題研究所／奈良自治体問題研究所／和歌山県地域・自治体問題研究所／しまね地域自治研究所／岡山県自治体問題研究所／広島自治体問題研究所／徳島自治体問題研究所／香川県自治体問題研究所／愛媛県自治体問題研究所／高知自治体問題研究所／福岡県自治体問題研究所／くまもと地域自治体研究所／みやざき住民と自治研究所

Schedule

7月21日(全体会)

12:00 ~ 開場・受付開始
 12:30 ~ 12:50 歓迎文化行事(太鼓+合唱団)
 13:00 ~ 13:15 開校あいさつ
 13:15 ~ 14:40 パネル討論①
 14:40 ~ 15:00 休憩
 15:00 ~ 15:50 パネル討論②
 15:50 ~ 16:50 総括講演
 16:50 ~ 17:00 事務連絡・閉会
 18:00 ~ 20:00 ナイター企画

7月22日(分科会)

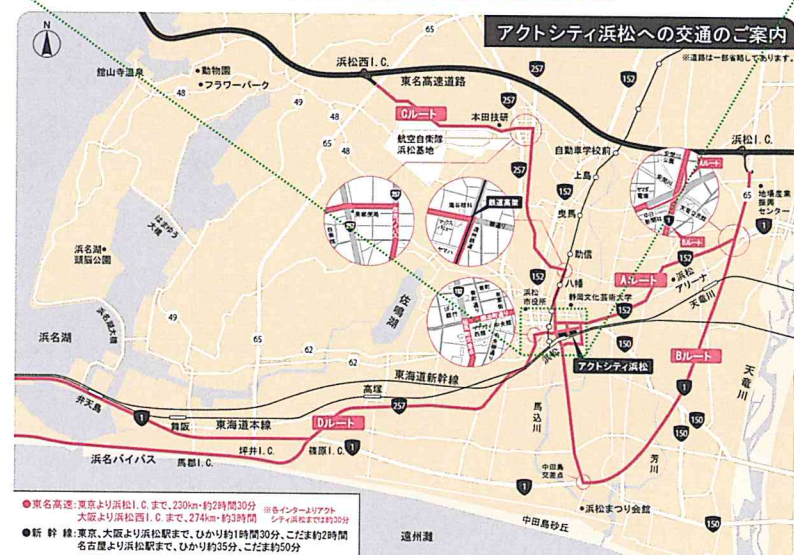
*2日目の参加受付
 アクト・コンgresセンター 1Fロビー
 10:00 ~ 16:30 分科会・講座・現地分科会
 18:00 ~ 20:00 ナイター企画

7月23日(全体会)

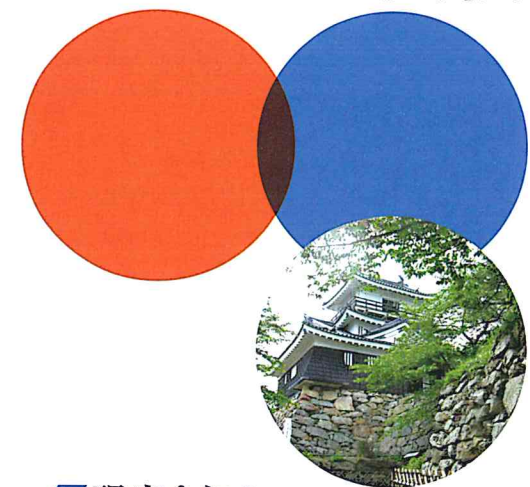
9:00 ~ 開場・受付開始
 9:30 ~ 10:30 特別講演
 10:30 ~ 10:45 休憩
 10:45 ~ 11:00 参加者感想
 11:00 ~ 11:30 学校長の閉校あいさつ

Access

アクトシティ浜松URL (<http://www.actcity.jp/about/access.php>)より



2012年
 7月21日(土)
 ▶▶ 23日(月)
 @アクトシティ浜松



現実を知る

いま何が起きているのか

政府の推し進める「地域主権」や「小さな政府」政策が、住民の貧困、自治体職員の疲弊、地方政治家の混迷を深めさせています。

学びの場

ホンモノの探求

他方、困難を押しつけて全国各地で住民参加が前進し、自治体職員の専門性が発揮され、開かれた地方議会が生まれています。

ネットワーク

みんなが先生、みんなが生徒

自治体学校は多くの専門家の支援により開かれます。受け身ではなくお互いに学び・教えあって、自治を担う幅広いネットワークを広げましょう。

学校長 中嶋 信

主催 第54回自治体学校実行委員会

後援 静岡県／浜松市／静岡市長会／静岡県町村会／静岡県市議会議員会／静岡県町村議会議長会／朝日新聞静岡総局／毎日新聞静岡支局／読売新聞静岡支局／産経新聞静岡支局／時事通信静岡総局／共同通信静岡支局／中日新聞東海本社／静岡新聞社・静岡放送／NHK 静岡放送局／株式会社テレビ静岡／静岡朝日テレビ

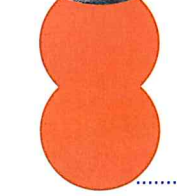
photo: 浜松観光コンベンションビューロー提供

第54回

みんなのでつくるホンモノの地方自治

in 浜松





1日目 7月21日(土) 13:00~17:00

全体会 アクトシティ浜松 大ホール

12:30~ 歓迎行事: 浜松センター合唱団
「海のお囃子」(濱鼓僧)「濱のお囃子」(はまでん)

●全体会テーマ

みんなでつくるホンモノの地方自治

第1部●パネル討論

「問題はあなたの地元で起きているんです!」

長引く不況と雇用不安、孤立生活、格差社会等々…政府がすすめてきた市町村合併や「地域主権」改革は、むしろこの流れを加速させています。東日本大震災からの復旧・復興においても、同様の事態が進行しつつあります。住民と自治体関係者・専門家が力をあわせ、安心して働き暮らせるホンモノの地方自治をどうつくっていくか—ともに語り、学び合ひましょう。



パネラー

学校給食の現場から 宮下早紀子^①
(みやした・さきこ 浜松市職員組合学校給食部会/静岡県静岡市生まれ)

福祉事務所の現場から 渡辺 潤^②
(わたなべ・じゅん 東京・大田区役所生活保護面接員/東京都大田区生まれ)

商工業者の立場から 服部守延^③
(はっとり・もりのぶ 愛知県商工団体連合会副会長/愛知県稲沢市生まれ)

大震災被災地・福島から 小川英雄^④
(おがわ・ひでお ふくしま復興共同センター/北海道紋別市生まれ)

コーディネーター
傘木宏夫^⑤(かさぎ・ひろお NPO地域づくり工房/長野県大町市生まれ)

第2部●総括講演

「『分権改革』と地方財政」 講師: 川瀬憲子(静岡大学)

第1部のパネル討論が浮き彫りにした地域社会・自治体の変容の背景には、いったい何があるのでしょうか。静岡県内各地をフィールドに調査・研究し、また東日本大震災の惨状をつぶさに見てきた研究者として、いま地方自治体のかかえる課題をもういちど歴史的な観点からふまえて見てみたいと思います。

かわせ・のりこ 大阪市生まれ。大阪市立大学大学院博士課程単位取得退学。専門は財政学・地方財政。著書に「市町村合併と自治体の財政」「分権改革」と地方財政「アメリカの補助金と州・地方財政」など多数。自治体問題研究所副理事長。

●●●ナイター企画

◆1日目夜の交流会 18:00~20:00

①「東北支援、浜松うまいもの味自慢・地酒交流会」

参加費4,000円(定員100名、持込み大歓迎!)

うなぎ、ギョウザなど浜松のうまいものをご用意します。そして、東北三県と静岡の地酒で乾杯。あなたの県の地酒持込みも歓迎します。1日目夜の夜を地酒で交流しましょう。

②「地域主権改革にどう取り組む」 助言者: 三橋良士明(静岡大学)

4月から市町村への権限移譲、義務付け等の見直しが施行され、国出先機関の地方移譲、議会改革、基礎自治体・大都市制度の検討も始まっています。地域主権改革は正念場です。どう取り組むのか一緒に考えましょう。



2日目 7月22日(日) 10:00~16:00

分科会 アクトシティ浜松 ほか

●討論のひろば



1 「住民と自治体の絆を確かめるのに!」

運営者: 傘木宏夫(NPO地域づくり工房)

助言者: 川瀬憲子(静岡大学)

児童虐待や高齢者の孤独死、国保・介護保険料の値上げ、指定管理者制度の採用、災害対策などなど。地方財政も危機だと言われ、住民は不安を抱き、自治体職員も悩んでいます。それぞれの実情を出し合い語り合って、明日からの生活や仕事に活かせるヒントを探しましょう。

●分科会

2 「脱原発そして再生可能エネルギーの社会へ」

助言者: 井内尚樹(名城大学)

昨年の3.11をさかいに、原発に対する国民の意識は大きく変わりました。原発の再稼働の対抗軸として再生可能エネルギーをどう地域から伸ばすのか、自治体ともかわるさまざまな論点で学習・討論します。

3 「経済の再生で笑顔あふれる地域社会を」

助言者: 岡田知弘(京都大学)

農林漁業も製造・流通・商業等も年々衰退し後継者に悩み、活力を失っています。働く人々が笑顔をとれどし活気を生む—新しい協力・協働をめざして、先進事例に学び・交流しましょう。

4 「人命尊重のコミュニティづくり」

助言者: 山崎丈夫(元愛知学泉大)

東日本大震災は地域コミュニティの大切さを示しました。一方で、児童虐待・孤独死の増加や無縁社会の広がりは深刻になっています。地域でのつながりを強めるために、人命が尊重される地域の在り方を学びます。

5 「災害から住民をまもる」

助言者: 中村八郎(くらしの安全安心サポーター)

東日本大震災から1年余…。被災地3県の復旧・復興はメドがたたず、被害が深刻化しています。一方、政府は原発の再稼働や大企業の利益につながる復興を推進しています。災害から住民を守る取り組みの交流やその方向性を探ります。

6 「TPPと私たちの暮らし」

助言者: 中嶋 信(徳島大学名誉教授)

TPPへの参加は、貿易の自由化に留まらず、食の安全、農業、医療、労働者保護などの規制撤廃も招きます。米国のアジア戦略への追随は国際批判も必至です。TPP問題にどう対処すべきか、みんなで考えましょう。

◎「生活保護抑制策にどう対抗するか」

運営者: 渡辺 潤(大田区役所生活保護面接員)

生活保護者・保護費が増えるなか、国や自治体はこれを抑制する「不正受給」攻撃を強めています。私たちはこれに対して就労確保・失業給付・年金の充実等を求め、現場から変革するために交流しましょう。

◆2日目夜の交流会

①議員交流会「大震災の現場に学び、議会改革の道を語り合う」

運営者: 池上洋通(自治体問題研究所主任研究員)

復興の課題に立ち向かう被災地からの報告を受け、連帯への思いを新たにします。原発廃止への道をひらくために、全国の地方議会は何をしなければならぬのか、いま求められている議会の民主的改革を語り合います。

7 「健全で安全な水循環を考える」

講師: 市野和夫(元愛知大学)

水は、健全な水循環によって保たれ、自然と共存してしか利用ができない国民共有の財産です。水を通じて、持続可能な社会をつくるための学習・討論を行います。また、「災害に必要な備え」についても考えます。

8 「住民を遠ざける“大きな自治体”の自治を考える」

助言者: 柏原 誠(大阪経済大学)

市町村合併で住民から遠くなった自治体には様々な問題があります。また「大阪都や特別自治市」構想など大都市の自治の在り方が議論されています。どうすれば大きな自治体でも住民の声がとるようにできるかを学びます。

●基礎講座

9 「基本の『き』から学ぶ地方自治」

講師: 池上洋通(自治体問題研究所主任研究員)

二代表制をかけた憲法の地方自治原則を分かりやすく学びます。そして、大阪維新の会の「八策」がえがいている国家像と地方自治、地域主権改革の本質を明らかにし、大震災が示した地方自治の方向を確認します。

10 「なるほど・ザ・自治体財政」

講師: 初村尤而(大阪自治体問題研究所研究員)

自治体財政は何となく落ち着いた様子に見えます。何よりとも見えますが、住民サービスと職員の人件費を削減した結果、「これでいいのか自治体財政!」と言いたいところです。望ましい財政への秘策はあるのでしょうか。

●現地分科会

11 「浜岡原発を訪ね、地元住民と交流しよう」

案内人: 岡村哲志(ひまわり集会実行委員会)

浜岡原子力館で、中部電力より津波対策などの説明を受け、案内人が浜岡原発の状況、福島原発事故原因をお話します。また3号機実物大模型や津波タワーを見学。そのあと地元住民と懇談します。

★8:30アクトシティ浜松南側出発(バス集合場所Accessマップ参照)

12 「山間地の村おこしに頑張る女性たち」

案内人: 酒井豊実(元天竜市議)

浜松市に吸収合併され、さびれゆく旧天竜市。でも、お母ちゃんお婆ちゃんたちは輝いています。天竜杉を活かした美術館、トンネルを利用したワインセラーのある道の駅などを訪ね、交流します。

★8:30アクトシティ浜松南側出発(バス集合場所Accessマップ参照)

3日目 7月23日(月) 9:30~11:30

全体会 アクトシティ浜松 中ホール

●特別講演

「東海地震による浜岡原発のリスク管理を考える」

講師: 渡辺敦雄(NPO法人APAST事務局長、福島、女川、浜岡で原子力発電所の基本設計を担当)

福島第一原発事故を踏まえ、現実視される東海地震震源域に立地する浜岡原発の地震と津波に関するリスクを明確化し、対策をどのように講じるかについて最新の情報を踏まえてお話します。

●参加者発言 「今年の自治体学校で学んだこと」

●閉校挨拶 「今年の学校を振り返って」 学校長 中嶋 信

